

4/23年旗

自民「安保提言」に抗議

学者・平和団体 「憲法の原則を逸脱」

全国の大学教授や平和団体関係者ら20人が21日、自民党「安保提言」に対して「憲法の原則を逸脱し戦争への危険を高める」として抗議する緊急声明を発表しました。

実質的な敵基地攻撃能力の保有を提言し、攻撃対象の根幹といえる「紛争を助長しない」という原則を放棄するものだと批判しています。日本に求められるのは、平和憲法にもとづいて防衛費の「対GDP比2%以上」に削減する目標を

提言しております。軍拡競争を加速させるものだと指摘しております。

防衛装備移転三原則を見直し、侵略を受けている国に殺傷能力を持つ兵器提供も検討するよう求めている

と述べ、武器輸出管理政策の「相手国の指揮統制機能を奪う」としておつ守ります。日本に求められるのは、平和憲法にもとづいては、平和憲法にもとづいて

国連を中心とした国際法秩序の回復のための努力である」と訴えています。

内藤（名古屋大学名誉教授）／伊藤和子（弁護士・ヒューマンライツナウ副理事長）／内海愛子（早稲田大学平和学研究所招聘研究員）／岡野八代（同志社大学教授）／奥本京子（大阪文学院大学教授）／川崎哲（ピース投票の会元代表）。